

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年10月15日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	ローツェ株式会社
【英訳名】	RORZE CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤代 祥之
【本店の所在の場所】	広島県福山市神辺町字道上1588番地の2
【電話番号】	(084)960 - 0001(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 岩瀬 好啓
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市神辺町字道上1588番地の2
【電話番号】	(084)960 - 0001(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 岩瀬 好啓
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期 連結累計期間	第36期 第2四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	17,587,917	24,719,369	37,103,263
経常利益 (千円)	4,219,077	4,502,062	7,517,762
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	2,932,445	3,290,204	5,470,722
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,203,025	3,105,179	5,045,191
純資産額 (千円)	25,721,196	31,166,425	28,571,112
総資産額 (千円)	50,926,878	59,584,516	54,777,241
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	169.69	190.39	316.57
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	169.58	190.12	316.21
自己資本比率 (%)	44.3	46.8	46.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,076,123	3,796,445	6,659,411
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,967,653	1,936,417	5,703,960
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	733,119	421,442	434,607
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	12,098,952	15,046,237	12,838,078

回次	第35期 第2四半期 連結会計期間	第36期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	73.07	99.43

(注)1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の影響を受け、大幅な景気後退に直面しました。緊急事態宣言解除後も感染者数が増加しており、感染不安が経済活動に影響を与えているため、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

当業界におきましても、世界経済の低迷及び米中貿易摩擦の影響が懸念される一方、テレワーク、オンライン授業の導入等、ビジネススタイル、ライフスタイルの変化による設備及び電子機器需要増を背景に、各種プロセッサやメモリー、通信デバイス向け製造設備投資の拡大が期待されています。

このような状況の中、当社グループは半導体関連装置の販売が引き続き好調に推移したことに加え、韓国子会社におけるFPD関連装置の大口受注の販売により、連結売上高は増収となりました。

損益面につきましてはFPD関連装置の大口受注による売上増加があったものの、相対的に利益率の高い半導体製造装置の販売が減少したことにより、前年同期比で増益ではありましたが、利益増加率は売上高増加率と比べて低調となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高24,719百万円（前年同期比40.5%増）、営業利益4,747百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益4,502百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,290百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・FPD関連装置事業の売上高は24,460百万円（前年同期比41.7%増）、セグメント利益は4,911百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

ライフサイエンス事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、装置出荷の延期が発生しました。この結果、売上高は258百万円（前年同期比21.0%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント利益63百万円）となりました。

##### 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ4,807百万円増加し、59,584百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,208百万円、その他の流動資産の増加1,093百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,211百万円増加し、28,418百万円となりました。これは主に、借入金の増加875百万円、支払手形及び買掛金の増加753百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,595百万円増加し、31,166百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加2,771百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて2,208百万円増加し、15,046百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は3,796百万円（前年同期は3,076百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4,496百万円であり、支出の主な内訳はその他の流動資産の増加額1,185百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,936百万円（前年同期は2,967百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,223百万円、投資有価証券の取得による支出402百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は421百万円（前年同期は733百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,000百万円及び長期借入金の返済による支出2,011百万円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、185百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、半導体・FPD関連装置事業における受注高及び受注残高が著しく増加しております。これは、韓国子会社RORZE SYSTEMS CORPORATIONにおいて、韓国のSamsung Display Co., Ltd.及びベトナムのSamsung Display Vietnam Co., Ltd.からディスプレイ製造装置の大口受注を受けたことによるものであります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,280,000
計	35,280,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,640,000	17,640,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株で あります。
計	17,640,000	17,640,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年8月31日	-	17,640,000	-	982,775	-	1,127,755

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
崎谷 文雄	岡山県井原市	6,274,200	36.31
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	1,049,100	6.07
日本スタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	901,800	5.22
藤代 祥之	岡山県井原市	737,600	4.27
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行東京支 店 カストディ業務部)	33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD- HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	562,500	3.25
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、 エヌ・エイ東京支店)	BANKPLASSEN 2,0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO (東京都新宿区新宿6丁目27-30)	337,300	1.95
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8-12	332,900	1.93
株式会社中国銀行	岡山市北区丸の内1丁目15-20	320,000	1.85
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	237,100	1.37
株式会社日本カストディ銀行(信託 口5)	東京都中央区晴海1丁目8-12	182,900	1.06
計	-	10,935,400	63.28

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

株式会社日本カストディ銀行(信託口) 1,564,900株  
 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 901,800株

(6) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式 (自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式 (その他)	-	-	-
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 358,500	-	-
完全議決権株式 (その他)	普通株式 17,277,000	172,770	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	-
発行済株式総数	17,640,000	-	-
総株主の議決権	-	172,770	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式52株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) ローツェ株式会社	広島県福山市神辺町字道上 1588番地の2	358,500	-	358,500	2.03
計	-	358,500	-	358,500	2.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,838,078	15,046,237
受取手形及び売掛金	11,410,015	11,985,093
商品及び製品	412,600	451,845
仕掛品	3,527,870	4,080,895
原材料及び貯蔵品	7,697,769	7,501,886
その他	523,811	1,617,427
貸倒引当金	114,197	56,498
流動資産合計	36,295,949	40,626,887
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	6,927,529	7,067,292
機械装置及び運搬具(純額)	4,402,027	4,176,729
土地	3,912,195	3,828,224
その他(純額)	1,169,489	1,166,033
有形固定資産合計	16,411,241	16,238,279
無形固定資産	569,622	629,954
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	338,060	770,823
繰延税金資産	859,973	729,227
その他	368,724	654,130
貸倒引当金	66,330	64,786
投資その他の資産合計	1,500,427	2,089,394
固定資産合計	18,481,292	18,957,628
資産合計	54,777,241	59,584,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,054,419	3,808,224
短期借入金	9,881,632	10,183,286
未払法人税等	1,186,504	928,793
賞与引当金	473,257	529,034
役員賞与引当金	64,000	30,000
製品保証引当金	688,716	822,103
その他	2,370,069	2,970,462
流動負債合計	17,718,600	19,271,904
固定負債		
長期借入金	7,805,611	8,379,231
役員退職慰労引当金	245,716	247,672
退職給付に係る負債	206,305	254,865
資産除去債務	221,134	220,850
その他	8,760	43,566
固定負債合計	8,487,528	9,146,186
負債合計	26,206,128	28,418,090
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,470,863	1,470,863
利益剰余金	23,249,114	26,020,876
自己株式	53,791	53,791
株主資本合計	25,648,961	28,420,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,102	105,263
為替換算調整勘定	435,406	661,602
その他の包括利益累計額合計	351,304	556,339
新株予約権	47,173	55,750
非支配株主持分	3,226,280	3,246,290
純資産合計	28,571,112	31,166,425
負債純資産合計	54,777,241	59,584,516

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	17,587,917	24,719,369
売上原価	10,747,769	17,448,666
売上総利益	6,840,148	7,270,702
販売費及び一般管理費	2,425,461	2,523,107
営業利益	4,414,686	4,747,595
営業外収益		
受取利息	18,491	4,981
売電収入	37,663	35,810
その他	37,509	41,848
営業外収益合計	93,663	82,640
営業外費用		
支払利息	16,224	23,736
為替差損	202,770	199,015
デリバティブ損失	43,789	77,742
売電費用	13,925	12,907
その他	12,563	14,772
営業外費用合計	289,273	328,174
経常利益	4,219,077	4,502,062
特別利益		
固定資産売却益	834	702
特別利益合計	834	702
特別損失		
固定資産売却損	-	5,910
固定資産除却損	20,812	503
特別損失合計	20,812	6,413
税金等調整前四半期純利益	4,199,099	4,496,350
法人税、住民税及び事業税	1,340,069	925,209
法人税等調整額	62,156	108,230
法人税等合計	1,277,912	1,033,440
四半期純利益	2,921,186	3,462,909
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	11,258	172,704
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,932,445	3,290,204

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	2,921,186	3,462,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,005	21,161
為替換算調整勘定	757,167	378,891
その他の包括利益合計	718,161	357,730
四半期包括利益	2,203,025	3,105,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,412,433	3,085,169
非支配株主に係る四半期包括利益	209,408	20,009

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,199,099	4,496,350
減価償却費	390,753	590,412
無形固定資産償却費	23,403	40,812
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,423	53,733
受取利息及び受取配当金	18,491	4,981
支払利息	16,224	23,736
為替差損益(は益)	347,795	260,140
デリバティブ損益(は益)	43,789	77,742
有形固定資産除却損	20,812	503
有形固定資産売却損益(は益)	834	5,208
売上債権の増減額(は増加)	1,833,558	697,617
たな卸資産の増減額(は増加)	565,130	644,024
仕入債務の増減額(は減少)	167,911	802,094
その他の流動資産の増減額(は増加)	111,291	1,185,310
その他の流動負債の増減額(は減少)	390,597	1,122,620
その他	198,286	150,019
小計	4,392,206	4,983,974
利息及び配当金の受取額	18,973	4,541
利息の支払額	15,229	25,135
法人税等の支払額	1,319,827	1,166,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,076,123	3,796,445
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,899,363	1,223,379
有形固定資産の売却による収入	834	56,416
無形固定資産の取得による支出	59,887	107,012
投資有価証券の取得による支出	-	402,793
貸付けによる支出	-	274,000
その他	9,237	14,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,967,653	1,936,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	83,224	47,800
長期借入れによる収入	2,200,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	1,116,911	2,011,136
リース債務の返済による支出	1,156	1,178
配当金の支払額	432,037	518,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	733,119	421,442
現金及び現金同等物に係る換算差額	280,768	73,311
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	560,821	2,208,159
現金及び現金同等物の期首残高	11,538,131	12,838,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,098,952	15,046,237

【注記事項】

(追加情報)

会計上の見積り

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、日本を含む世界各国の経済環境に多大な影響が生じております。これらの影響は限定的であるにとらえ、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。今後の感染拡大により経済活動への影響が深刻化、長期化する場合には、材料調達、生産、販売をはじめとした様々なリスクが考えられ、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
受取手形	34,174千円	- 千円
支払手形	139,583千円	- 千円
設備支払手形	858千円	- 千円

なお、設備支払手形は流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
役員報酬	116,351千円	108,717千円
給与手当	542,508千円	625,684千円
賞与引当金繰入額	406,313千円	316,748千円
役員賞与引当金繰入額	30,000千円	30,000千円
退職給付費用	21,901千円	55,888千円
役員退職慰労引当金繰入額	35,198千円	11,001千円
研究開発費	144,411千円	185,429千円
貸倒引当金繰入額	7,423千円	52,918千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	12,098,952千円	15,046,237千円
預入期間が3か月を超える定期預金	- 千円	- 千円
現金及び現金同等物	12,098,952千円	15,046,237千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月30日 定時株主総会	普通株式	432,037	25	2019年2月28日	2019年5月31日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	518,443	30	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	半導体・ FPD関連 装置事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,260,575	327,342	17,587,917	-	17,587,917	-	17,587,917
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70,588	-	70,588	-	70,588	70,588	-
計	17,331,164	327,342	17,658,506	-	17,658,506	70,588	17,587,917
セグメント利益 又は損失( )	4,554,284	63,089	4,617,373	30,950	4,586,423	171,736	4,414,686

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、磁石事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用 171,736千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	半導体・ FPD関連 装置事業	ライフ サイエンス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,460,766	258,602	24,719,369	-	24,719,369
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,615	-	2,615	2,615	-
計	24,463,382	258,602	24,721,984	2,615	24,719,369
セグメント利益 又は損失( )	4,911,906	10,076	4,901,830	154,234	4,747,595

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用 154,234千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 磁石事業における事業会社であるJIKA JIKA CO., LTD.の清算手続きを、2019年12月に開始したことにより、当第2四半期連結累計期間において「その他」に含まれる事業セグメントはありません。



(デリバティブ取引関係)  
 前連結会計年度末(2020年2月29日)

区分	対象物の種類	取引の種類	契約額等(千円)	時価(千円)	評価損益(千円)
市場取引以外の取引	通貨	為替予約取引 買建 受取日本円、支払韓国ウォン	1,489,154	46,607	46,607
市場取引	通貨	為替予約取引 売建 受取韓国ウォン、支払米ドル	1,753,012	5,594	5,594

(注) 1.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。  
 2.為替予約の時価は、差金決済額(差損益)を記載しております。

当第2四半期連結会計期間末(2020年8月31日)

対象物の種類が通貨であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

区分	対象物の種類	取引の種類	契約額等(千円)	時価(千円)	評価損益(千円)
市場取引以外の取引	通貨	為替予約取引 買建 受取日本円、支払韓国ウォン	1,418,242	90,806	90,806
市場取引	通貨	為替予約取引 売建 受取韓国ウォン、支払米ドル	5,393,700	13,950	13,950

(注) 1.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。  
 2.為替予約の時価は、差金決済額(差損益)を記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	169円69銭	190円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	2,932,445	3,290,204
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	2,932,445	3,290,204
普通株式の期中平均株式数(株)	17,281,481	17,281,448
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	169円58銭	190円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(株)	11,327	24,906
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月12日

ローツェ株式会社  
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陶江 徹

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 直子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているローツェ株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ローツェ株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注)1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。